

東浦和中学校 75年目を迎えて

校長 遠藤 浩之

改めまして、この4月から本校校長を拝命いたしました、遠藤 浩之と申します。3月までは、岩槻区にある城南中学校の校長を務めておりました。石川前校長先生のあとを引き継ぎ、この東浦和中学校を地域に誇れる学校にするため、精一杯務めさせていただき所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校は、昭和22年4月1日新学制の実施により、旧浦和市立尾間木中学校として創立いたしました。昭和31年4月、学校名を東浦和中学校と改名し、平成2年4月1日には新たに尾間木中学校が設立され分離独立いたしました。更に、平成13年5月1日浦和・大宮・与野の三市合併に伴い、「さいたま市立東浦和中学校」となりました。地域・保護者の皆様からの支えを基盤とし、生徒・教職員による心温まる教育活動により、今年度75年目を迎えた伝統ある学校です。

令和3年度は 新入生146名、新2年生146名、新3年生161名、合計453名（5月1日現在）でスタートしています。

学校教育目標

夢を追え、自らを高めよ — 学べ・磨け・輝け —

そして、上記のような学校教育目標を掲げ、目指す生徒像を

「これからの社会を生きる人として、自ら考え、判断・決定し、行動できる力を身につけた生徒」とし、学校経営の基本方針として、「寄り添い 導き 見届ける」教育の実践《生徒・保護者に寄り添う》を、取組の重点として、『自ら考え行動する力・自ら進んで学ぼうとする意欲』を育てる」を掲げ、教育活動を展開してまいります。

今年度は、「GIGA スクール構想」のもと、市立全小中学校に生徒一人一台タブレットが用意され、対面授業とデジタル授業をどう融合していくのがよいかを追究しながら、各教科の授業が展開されます。また、昨年度1年間の準備期間を経て「コミュニティ・スクール」も正式にスタートします。地域、保護者の皆様と学校職員とで構成される学校運営協議会の場で、「どのような学校をつくっていくか」についての話し合いを重ね、よりよい東中を目指して様々な教育活動に取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様におかれましては、昨年度に引き続き、本校教育活動に対し、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。